

# 高等学校における練り上げを取り入れた授業提案

教科指導重点コース 理数・自然科学系(数学)

岩永英志

本研究は、自力解決をしつつも必要に応じて協働解決を自ら行えるようにするために必要なメタ認知能力を育成するため、「教科書読解における練り上げ」が一つの説明概念になることを期待して、実践・検討した。高等学校で練り上げを行ううえで、自力解決時に分からないことに対して不安感が出てしまったり、教科書内容を一行ごとに丁寧に読解することにより情報過多になったりする問題点が出てきた。そこで、2回目の実践では、机間観察の際に認知的支援やメタ認知的支援を行ったり、情報を精査したりする手立てを立てた。その結果、学力中位群に対する認知的技能の向上、及び、学力上位群に対するメタ認知的知識・技能の向上が見られた。一方で、本実践の一番のターゲット層である学力低位群に対しては、メタ認知と認知的技能の向上があまり見られなかった。そのため、学級にいる様々な学力層に対する効果的な支援を今後も考えていく。